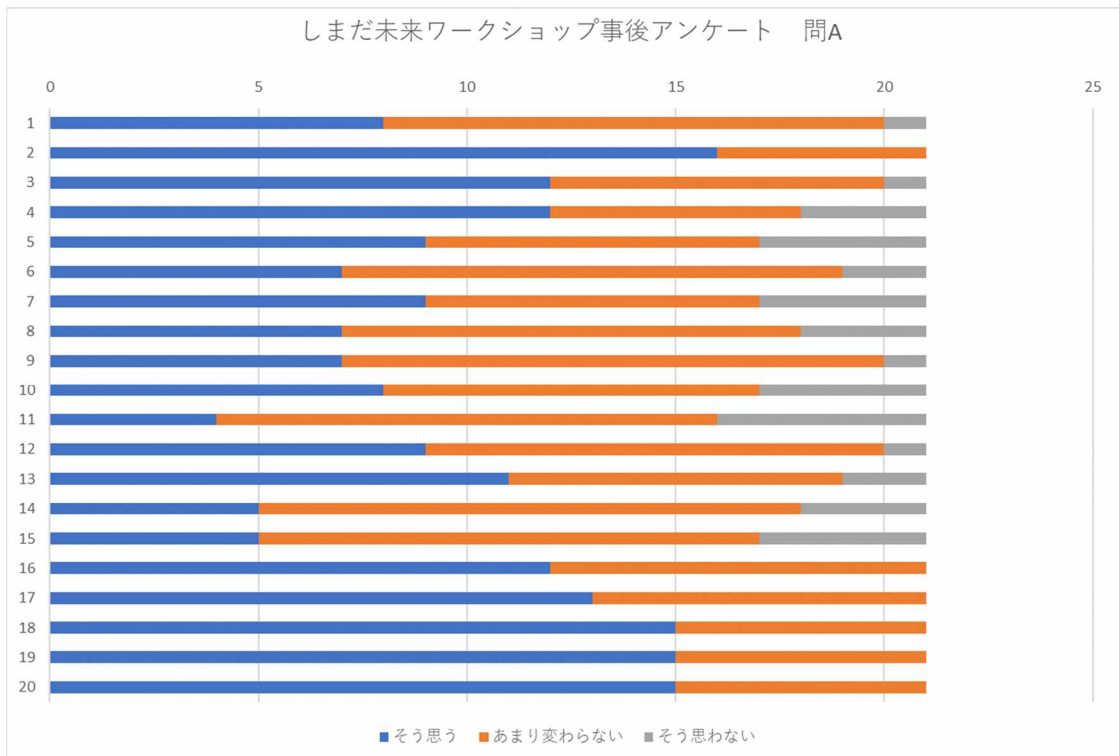


しまだ脱炭素未来ワークショップ事後アンケート結果

2023年10月15日 参加者数 25 回答者数 21

問A 今日のワークショップへの参加をとおして、あなたの気持ちにはどんな変化がありましたか？  
Q1～Q20の質問について、1～3のうち、あてはまる数字を1つだけえらんで○をつけてください。

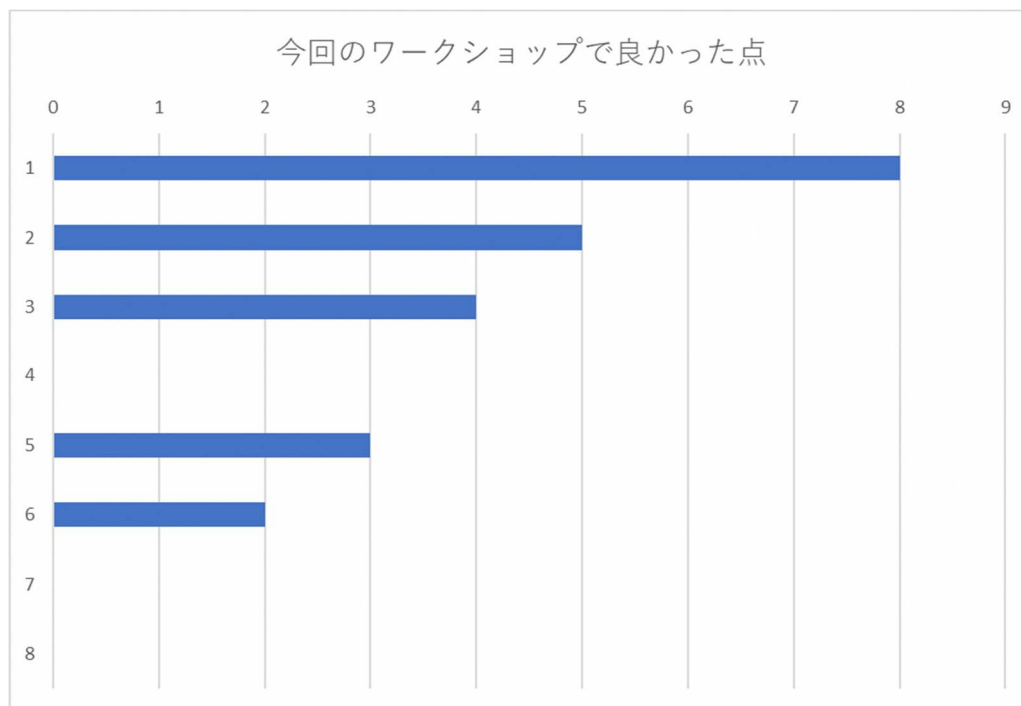
	そう思う	あまり変わらない	そう思わない
1. 島田市が好きだ	8	12	1
2. 島田市に貢献したい	16	5	0
3. 島田市の問題をもっと知りたい	12	8	1
4. 社会・地域問題をもっと話したい	12	6	3
5. 市の現在や将来について知識がある方だ	9	8	4
6. 私が関わることで、現状を変えられるかもしれない	7	12	2
7. 私が積極的に関われば、市の決定に影響を及ぼせる	9	8	4
8. 市の問題の解決のため、関係者と話し合う場に参加したい	7	11	3
9. 市の問題解決のための話し合いや協力への参加を呼びかけたい	7	13	1
10. 市の問題解決のため、自分たちの意見を届ける活動に参加したい	8	9	4
11. 島田市のリーダーになりたい	4	12	5
12. 市の将来の問題や対策の影響など長期的視点で考えられる	9	11	1
13. 未来で起きそうな問題を未然に防ぐ方法を考えられる	11	8	2
14. 望ましい未来の実現のために、効果的な戦略を考えることができる	5	13	3
15. 多様な主体を巻き込んだ戦略を考えることができる	5	12	4
16. チーム協働作業ができる	12	9	0
17. 立場や意見の異なる人と協働できる	13	8	0
18. 市の問題解決には個人で行動するより人と協働したほうが効果的だ	15	6	0
19. 他の人と協働して市の問題に取り組まなければ危機的状況になる	15	6	0
20. 他の人と協働して市の問題に取り組むことは私たちの責任だ	15	6	0



回答者数 21

問B. 今回のワークショップで、よかったなと思えることはありましたか？ 以下のうち、よく当てはまると思うものに2つまで○をつけてください。

- 1.島田市の現状について知ることができたこと。
- 2.島田市の未来を考えることができたこと。
- 3.市長に自分たちの意見を伝えられたこと。
- 4.同じ学校の人たちと話し合いができたこと。
- 5.他の学校の人たちと話し合いができたこと。
- 6.市役所の人たちと話し合いができたこと。
- 7.専門家の話を聞いたこと。
- 8.特にない。



問C 今回のワークショップで印象に残ったことや感想を自由にお書きください。

- 島田市の現状について違う年代の人と話すことができました。子供からの意見ではなく大人の意見をきくことができ、あたらしい意見をきくことができ良かったです。意見を自分たちで伝えることができ良い経験になりました。
- いろいろな人と話し合いができ関わるることができたので、良い経験となりました。
- 島田市の現状について知り、問題に対する政策を考えることができました。島田市の魅力をもっと増やして、魅力のある地域にして、人がたくさん集まるようにしたいです。学校の授業の学活や総合で島田市のことを知ったり、考えたりする授業をもうけ、地域の一員として未来について考える必要があると思いました。
- 島田市はどんな状況なのかこれからどうしていけばいいのかをいろいろな人と交流して知れたこと。
- 同じグループの中で様々な年代の人がいたので、いろいろな考えが出て、より深く考えを持つことができたので、良かったです。
- 年齢に関係なく班（グループ）でいろんな視点から話を聞いたことです。
- 社会の地理で各地方の過疎や地域おこしについて学習していて、島田市は現在どのような状況であるのか疑問に思っていたため、より深く知ることができて良い経験になったと思う。また市長に会い、意見を伝えられることがなかったので、このような場を設けてもらい大変ありがたい。

- 普段は自分の市の未来や現状について考えることや、関心がなかったけど、今回のワークショップを通じて、以前よりも島田市の関心が高まるきっかけとなりました。各グループで島田市の現状と解決策をたくさん付せん書き考えたことがとても印象に残っています。また他グループの書いたことを見たりして、様々な分野からたくさん意見を知ることができました。
- 最初は知らない人と話すということもあって緊張したけど、自己紹介からだんだん自分の思ったことを伝えることができるようになっていって、意見を交流するって楽しいなと思いました。最後には市長にも提言できたので、本当にいい経験ができたと思いました。
- 根拠となるデータによって現状や未来の課題が分かった。またワークショップで年令や性別・立場を問わず、自由に対策を考えることができ、とても良い経験になった。私は学校職員のためこのような機会を総合的な学習の時間に取り入れてみたいなと思いました。ありがとうございました。
- 島田市の未来について話し合えたことが印象に残っていて、いろんな人と話し合うことができ良かった。
- ①今回のワークショップでは、30年後の未来の市長に対して提言するという趣旨だったと思いますが、全体的には現在の市長に提言するといった内容に終始したように思う。早急に取り組むべきことが多かったのではないのでしょうか。②多くのことは島田市だけが抱えている問題ではなく、国全体が抱えている問題に共通していると思いますので1市だけで解決できる問題ではないかもしれません。③その中で少し気になった点は島田市の農業は主に茶とレタスということで、よく聞く緑茶化計画という言葉の質問では、これはプロモーションであってあまり深い意味を持たないと回答されました。私としては折角考えた言葉を単にプロモーションで終わらせることなくしっかりした計画に打ち立てるべきだと思います。島田の茶産業は果たしてお茶所として自慢できる状態か考え。振興策を講ずべきと思います。例えば目標としてお茶の単価を半分にする。省力化のため機械化・ロボット化を進める。大規模経営や流通形態の簡略化。耕作放棄地の削減など。④大井川の水問題についてはリニア工事で議論されていますが、最近では田代ダムの水を工事で減少した分と相殺する（朝三暮四案？）という話が出ています。私の中には、大井川の水問題はそもそもリニア工事で水枯れを起こす以前の問題と捉えています。大井川の現状は上流部で他地域に水を回されて本流部は見ると影もありません。小井川と言っても良いくらいになっています。国内の大河川では一番ひどい状況ではないのでしょうか。島田市の今を象徴していると同時に大井川の復活がない限り繁栄もないように思えます。水をもっと本流に流してもらいたいものです。もしかしたら夏の暑さも少しは緩和されるかもしれない。⑤子供の少子化対策では政府が30年くらい子育て世代に施策を講じてはいますが、毎年ずっと出生勝率が低下しているとのこと。多分対策を講じなければなお一層落ち込んでいでしょう。ただ出生率が低下するのを抑えても若者が将来この街に戻ってきてくれるかはまた別の問題かと思います。将来島田市で暮らしたいと思ってもらえるようないくつかの方策を同時に実施して、その結果子供の出生率が上がったとなることが一番の理想なのかもしれませんが。但し、私自身は人口が必ずしも増えることが良いとは考えていません。以上
- 私も自身のできる事に少しでも共助という立場で貢献していきたいと考えています。
- 中学生や高校生の考え、日々の不満を聞いたことは新鮮な体験でよかったと思います。発表の時間が限られているので、提言は各班1テーマに絞った方がより具体的な話が聞けて良いかと思いました。"
- 1. 「未来カルテ」によって、今のままだったらどうなるかが、各ジャンル（人口、産業、保育・教育、医療・介護、施設・道路・住宅、廃棄物・エネルギー、農地・林地、財政、温暖化リスク、災害リスク、技術進歩）毎に良く分かった。
- 2. 過去を変えることはできないが、「未来は政策によって変えられる」は説得力があった。
- 3. 問題点・課題を出すまではスムーズに運んだが、いざ市長への提言を考えた時、まとめが非常に難しかった。

4. 課題を解決していくためには、実は小さな行動の積み重ねが重要であるが、今回のワークショップの手法の中の政策提言では小さくても重要なことをどう扱ったら良いか、最後まで分からなかった。

5. 今回のワークショップは、「しまだ脱炭素・未来ワークショップ」と名付け、脱炭素を目指した提言に絞られると思いました。確かに脱炭素を考える時、あらゆるジャンルの変化を念頭にして考える必要があることは理解するが、提言の中に脱炭素とは直接関係のない政策が出て来て焦点がぼけたのではないか。  
以上

- 言葉の定義を考えているうちに次に進んでしまうので、理解できない項目もありましたが、島田市の各種データが今後の参考になりました。

「脱炭素」に特化したワークショップかと思って参加したら、少し異なりました。イベントタイトルやチラシの内容をもう少し工夫した方が良いかも？

中学生から70代までの様々な世代がいっしょに考えるという、貴重な体験となりました。

事務局のみなさん、お疲れさまでした。"

- 未来のためのワークだったので、若い世代の多数参加はとても良かったと思う。  
ただし、個々の課題を出して行った時、もっと事前に島田市の実情を学んでおきたかった、そうすればもっと良い具体的提言ができたのではなかろうかと思う。

身近な問題として、ごみ処理費用がかさんで有料化の可能性があることを知り、焼却炉の性能に合わせた、最適なごみ分別などのことをもっと知りたいと思った。

千葉大学の皆さんが用意して下さったデータやシュミレーターから、もう少し時間をかけて脱炭素のことを考えたかった。

市長さんが細かく講評をくれて、嬉しかった。ただ、しっかりした提言にするには、各作業の時間が短くて、足りなかったかなあと思った。

島田市を知るととても良い機会がもらえたと思う。千葉大学の皆さんにもっとちゃんとお礼を言いたかったです。"

- ・専門的な用語が頻出し、専門家からのこまめな解説があると嬉しい。内容は、普段環境の分野に目を向けたことがない人にとってはかなりレベルの高い内容であったと思う。それを良く捉えれば基礎知識の向上につながるが、逆に（特に中学生にとって）考える意欲を削いでしまう恐れもあるように感じた。  
・もう少し早い時間に休憩が欲しかった。